

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名				
08114	保育料収納事務	教育委員会	こども係	林 一昭	原 照代				
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 27 日	連絡先(内線)	2504				
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0370	児童福祉総務事務				
	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	#N/A						
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	2章	安らぎと潤いのある社会				
		節	(コード選択)	1節	地域で支える思いやりのある福祉を充実する				
		項[基本施策]	(コード選択)	212	子育て支援の推進				
主な取り組み		(コード選択)	2121	保育サービスの充実と施設整備					
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他	
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

辰野町保育園に入園している児童の保護者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

保育料の収納・徴収に対して保護者が収納しやすい環境をつくり、現年度内徴収の達成及び滞納繰越をなくす。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 保育料口座振替の奨励により保育料の口座振替率の向上、他の業務と連携しコンビニ収納を実施する中で、保育料支払いの利便性及び収納率の向上を図る。
- 保育料現年度分については、保育園で園長を通じ催告を促し、臨宅徴収を実施。
- 滞納者について、年3回支給される児童手当から徴収する。
- 連帯保証人への請求。預金調査(税務との連携)をし、差し押さえを実施する。

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
①	指標名	コンビニ支払い納付書郵送数(延べ)		240	240	200	200
	説明	滞納者へコンビニ支払い納付書郵送数件数		目標値設定の根拠 実施年度からの推移			
②	指標名	臨宅徴収件数・児童手当からの徴収件数(延べ)		30	30	30	100
	説明	臨宅徴収・児童手当からの徴収・連帯保証人への請求件数		目標値設定の根拠 実施年度からの推移			

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
①	指標名	現年度保育料徴収率		99	99	99	99
	説明	保育料納入額/保育料調定額		目標値設定の根拠 実施年度からの推移			
②	指標名	過年度保育料徴収率		23	19	20	20
	説明	過年度保育料納入額/過年度保育料調定額		目標値設定の根拠 実施年度からの推移			

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度					
			決算	決算	見込み	見込み					
対前年比		%		100	100.2	100					
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	0	0	0	0					
B) 一般財源(税金)		(千円)	6,085	6,088	6,099	6,099					
①事業費		(千円)	0	0	0	0					
対前年比		%									
②人件費の概算		(千円)	6,085	6,088	6,099	6,099					
対前年比		%		100	100.2	100					
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/
町職員(正規職員)		(千円)	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.41 0.41 0.41	0.41 0.41 0.41	0.82 0.83 0.83	6,085	6,088	6,099	6,099
臨時職員		(千円)	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 辰野町滞納対策推進本部会議での情報共有、住民税務課の協力
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 滞納者にたいして、文書又は直接面接をし、現在の状況、内容等を把握、保育士を通して把握。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

児童手当の支給を現金支給にした。滞納者について、保育にかけているのか家庭環境調査を行った。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

悪質な滞納者への預金調査、差し押さえを実施。こども手当など支給月に現金支給の強化	22年度予算見積書への反映 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

住民税務課等との連携や集金の工夫により、滞納額の縮減を進め成果が上がっている。より一層の努力をしながら、不納欠損処理も検討する。	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択